

夏祭りのあと 着物を着た女性に誘われた 閉店後の店の裏ですっぱだか

夏の色合いも次第に薄くなり、夜は涼しさも帯びてくる。

Tシャツ一枚で歩くと少し吹く風に寒さを感じる夜。

何の目的もなかった。

普段から体重維持のために運動をされていて、この日は仕事が偶然午前まで。少し遅くなったが夜9時過ぎ、ウォーキングに行こうと自宅のマンションを出た。

散歩はいつも同じコースではなく、だが全く違うというわけでもなくだいたいの範囲というものはある。

商店街をくぐり大通りへ。

華やかな音ときらびやかな明かり。

赤々と商店街が華やいでいる。

女子大学生たちが着物を着て踊っていた。

むっちむちの足が着物から伸びている。

えっせーっっ！！ほいせっ！！！！

古くから続く歴史ある地域のお祭りだった。

大々的な大きな祭りではなく、大通りを中心にお神輿などを担いで華やかに楽しむ。どこかで聞いたことがあったが。

今夜だったのか・・・。

屋台などが並び、神輿の行き先である神社の公園に大きな櫓（やぐら）が設けられている。

女子大学生たち二人が通行止めになっている大通りのアスファルトで神輿の後をついていって踊っている際に、ふと何かにけつまずき転んだ。

きゃっ！！！！

真っ白な下着が露わになった。

思わず俺は目を逸らす・・・・・・・・。

大切な大切なパンティを・・・・・・・・。

とっても美味しそうな足だけど・・・・・・・・。

赤々とほっぺを火照らしながら、

「きゃっ！！・・・はっずかしいっ！！！！転んじやったよ  
っ・・・」

起き上がって仲間に抱きつく。

ボランティアといった感じ。

学校以外での野外活動の一環で踊っているのだ。

近くの俺の行きつけのカフェでもたまに学生たちが勉強を  
しにきていてミーティングなどが行われており、古くなった  
商店街を活性化させようなどと頑張っているようだ。

ちなみに俺はそこで出会った一人の背の高い女の子とセッ  
クスフレンドになっているのだけど。

彼女は学生にしては少し背徳感漂うぞ！！？ってくらい、おへそにピアス、そしてアソコは毛を剃っている。

それって真面目にボランティア勉強をしている学生としていいのかっ！！？って感じがしていたけれど。

今となれば一緒に混浴温泉へ行く仲だ。

毎晩とにかくシックスナインでずっとずっとあそこを舐め合っている。

．．．．．と、そんな俺の彼女の話は置いておいて。

(体験版はここまでです)